



おぐら  
尾倉

<校訓>  
自主  
創造  
協力



令和4年10月17日(月)発行  
校長 栗原博巳  
北九州市八幡東区尾倉三丁目10番1号  
HP: www.kita9.ed.jp/ogura-j/

<学校教育目標>

豊かな心もち、健やかでたくましく行動する生徒の育成～みんなで考え、みんなで取り組み、みんなでつくる尾倉中学校～

<目指す生徒像>

- ① 感性豊かで、意欲的、主体的に学習する生徒
  - ② 健康で明るく、思いやりのある生徒
  - ③ 礼儀正しく、奉仕の精神に満ちた生徒
- ◇ 元気のいい挨拶・礼儀・身なり・学習規律と集団生活における規律とマナー

## Team 尾倉の気持ちを大切にしよう!

### チーム(TEAM)・・・校長先生の好きな言葉

班、グループ、学級、学年、部活動、硬式野球チーム・・・いろいろなチームがありますが、みなさんは、“いいチームって、どんなチーム?”と尋ねられると、何と答えますか?やはり、“いい結果を出すチーム”と答えるのではないのでしょうか。では、どんなメンバーがそろえば、いいチームになるのかと考えると難しいのですが、例えるなら過去のプロ野球のジャイアンツ(昔の話なので、みんなは知らないかもしれませんが)のようではいけないのだと思います。それは、ホームランバッターを揃えた史上最強打線では、いい結果を出せなかったということです。(たとえが難しいかもしれませんが)今の野球のたとえの方が分かるかもしれません。野球日本代表が全員エンゼルスの大谷選手やヤクルトスワローズの村上選手ばかりだとどうなるでしょうか。

人は、普段、何かしらのチームの一員として生活しています。そのチームに関して考えるとき、ジャイアンツが勝てなかったことは、よい反対の例えだと思えます。走る人・守る人・投げる人・チームのために犠牲打の打てる人など、いろいろな特技をもった人・キャラクターが、チームには必要であるということが分かります。同じタイプの人ばかりが集まると、越えられる壁の種類も少なくなります。

さて、班でもグループでもチームをつくらうとすると、ついつい失敗してしまうことがあります。それは、いわゆる“好きな者同士”が集まってしまうということです。日常を楽しく過ごす程度なら構わないのですが、スポーツのチームや合唱団をはじめ、何かの目的や困難を乗り越えていくためと考えると、“好きな者同士”チームの実力は高くはないと思えます。力の強い人・すばしっこい人・機転の利く人や、ソプラノ・アルト・テノール・バスと。学校の調理実習の班でいうと、切るのが得意な人・フライパンさばきが得意な人、欠かせないのはマズくても(笑)、笑顔で食べる人など。「違う」人たちがチームをつくったとき、いいチームになるのだと思うのです。行動的な人・慎重な人・仲をとりもつのが上手な人がいると、多くのチームは上手く物事を運んでいけると思うのです。

よく行動的な人たちは慎重な人を暗いと言ひ、慎重な人たちは行動的な人をウルサイ・軽はずみと嫌い、仲をとりもつことが上手な人は、時に八方美人・自分の意見がない人と言われたりします。なかなか、いいチームをつくることは難しいことです。

それでも、人はチームで生きていくと思えます。家族から小学校、中学校、高校、大学、会社まで。その中で、一人一人が独自のキャラクター・よさを発揮していくことが大切です。そして、自分と違う個性をもった人(=“好きな者同士”以外の人たち)との人間関係づくりに、もっと積極的になることが大切だと思えます。

それから、チームワークは、初めからあるものではなく、チームプレーの中で生まれてくるものです。同じように、人の好き嫌いも、第一印象に止まらず、チームプレーを通して判断していくことが、とても大切なことだと思えます。

先生たちの職員室でも同じです。それぞれの教科のスペシャリストであると同時に、それぞれの先生が得意分野をもっています。みんな同じような先生でないからこそ、先生たちも「チーム尾倉」として毎日頑張っています。

さて、今一番苦手な人が、これからのあなたにとって最も大切な人かもしれません。体育大会、文化学習発表会、校外学習(1・2年)、受験と学級、学年すばらしいチームワークを発揮して下さい。

体育大会の練習に向けて少し難しい内容を載せましたがぜひ読んでください。

## 体育大会に向けて大切にしたいことは

体育大会や文化学習発表会、修学旅行など、クラスで一つのことに取り組むとき、どうすればうまくいくと思いますか?それは、同じ目標に向かって頑張る友だちとよい関係を築ける「言葉かけ」が大切だと思います。

### ■ 目指すゴールを明確に

### ■ 違う意見も受け止める

### ■ 居場所づくりが大切

